



County of Maui
Public Information Office
200 South High Street
Wailuku, Hawai'i 96793-2155
Phone: (808) 270-7855
Fax: (808) 270-7870

Rod Antone
Communications Director

Ryan Piros & Lois Whitney
Asst. Communications Directors

FOR IMMEDIATE RELEASE

2015年9月18日

マウイ・カウンティ・フェアで世界的レースドライバーの田嶋伸博氏、「モンスター田嶋」が電気自動車でパレードを先導、市民・学生との交流も
County departments also highlighted with displays, giveaways

マウイ島ワイルク発 - マウイのアラン・アラカワ郡長は、来週開催されるマウイフェアにおいて、ブループラネット財団とのパートナーシップのもと、カウンティ・テントで、テスラの電気自動車「ロードスター」と「モデルS」の2台の展示を行い、世界的レースドライバーであり、イノベーターとしても知られる「モンスター田嶋」こと田嶋伸博氏もこのイベントに参加すると発表した。

マウイ・カウンティのテントは、エンターテインメント・テントの隣に配置され、2台の電気自動車とともにマルチメディアディスプレイによる電気自動車レースのビデオ放映、さらにカウンティ及びブループラネット財団のプログラムの情報提供も行う。このイベントは、一般市民が電気自動車を間近に見て、ハワイのクリーンTRANSPORTATIONについて学ぶと同時に、モンスター田嶋に直接会う機会となる。モンスター田嶋は、24日（木）はパレード後の午後6時から8時まで、25日（金）の午後6時から8時まで、26日（土）は午後12時から1時まで、テントで一般市民との交流を行う。それに先立ち、10時からマウイで自動車について学ぶ学生とのトークセッションも開催される。

アラカワ郡長は、「誰もがクリーンエネルギーによる自動車のめざましい進歩を目にするまたとない機会となる。電気自動車はより効率よく、しかも力強く進化しており、高級電気自動車の技術は大変素晴らしいものだ。モンスターと共に、電気自動車フェアの幕開けのパレードに参加するのを楽しみにしている。多くの皆さんにカウンティのテントに来て欲しい」と語った。

モンスター田嶋の訪問とテスラの電気自動車の展示は、ハワイの100%クリーンエネルギー実現を牽引する非営利団体であるブループラネット財団とのパートナーシップにより、日本の一般社団法人電気自動車普及協会（APEV）とハワイ電気自動車ネットワーク（HEVN）の協力のもとで実現した。

ブループラネット財団は、先般クリーンTRANSPORTATIONプログラムをスタートさせ、化石燃料を使わない地上輸送をハワイに普及するための活動を行っている。

ブループラネット財団のクリーントランスポーターションディレクターであるシェム・ロウラー氏は、「私たちは世界が100%クリーンエネルギーを実現することを目指している。現在、ハワイに輸入される化石燃料の3分の1以上が、地上の輸送に使われており、これを変えることが、ハワイのエネルギー自給達成の鍵となる」と語った。

さらに、「今年のマウイ・カウンティ・フェアでハワイの輸送手段が大きな転換期を迎えたことを電気自動車の展示によってマウイの住民に見ていただくことを楽しみにしている。また、電気自動車は、ハワイの家庭の輸送コスト削減にも貢献している。電気自動車は炭酸ガス排出の減少により環境を向上させると同時に、ハワイのエネルギー自給にも大きな役割を担っている。電気自動車は、ハワイの未来を象徴するものである。モンスター田嶋は、レースの世界でも電気自動車の力を実証し、世界の多くの人にメッセージを送り続けている」と加えた。

「モンスター田嶋」のニックネームで親しまれる田嶋伸博氏は、レースドライバーとしてだけでなく、タジマモーターコーポレーションの会長・CEO、SIM-Driveコーポレーションの社長・CEO、さらに一般社団法人電気自動車普及協会（APEV）の代表理事も務めている。

日本の自動車業界で最も革新的なリーダーである田嶋氏は、カーメカニック、エンジニア、会長、チャンピオン・レースドライバー、さらには優秀なビジネスマンの多くの顔を持つ。彼はスズキスポーツブランドで、スズキのモータースポーツのプロモーションに大きな役割を果たしてきた。レースカードライバーとしては、アジア太平洋ラリーで5回優勝、パイクスピークヒルクライム（PPHIC）では2006年から2011年まで6回連続優勝の快挙を遂げた輝かしい実績を持つ。

2010年に、田嶋氏はベネッセホールディングスの福武総一郎会長（現最高顧問）とともに、電気自動車の普及をめざして日本で一般社団法人電気自動車普及協会（APEV）を設立した。

ラリードライバーとして世界中を回った経験から、田嶋氏は、化石燃料自動車からの脱却が最も重要な課題だと考えた。そして、2012年、PPHICにおいて、初めて電気自動車「E-Runner」で挑戦、2013年には、電気自動車部門で新記録を樹立して優勝し、電気自動車の新しい時代の幕開けと未来への可能性を証明した。

電気自動車はガソリン車よりも平均して3倍の効率があるだけでなく、再生可能エネルギーによる電力で動かすことができる。電気自動車は、輸送手段はもとより、そのバッテリーは一般家庭においても電気グリッドの充電器として電気貯蔵能力を増やす役割を果たすことができる。

ハワイの住民の多くは、すでに電気自動車の恩恵を享受している。今年8月末現在、マウイでは635台の電気自動車が登録されており、これは島内の乗用車の0.4%にあたる。2011年9月までは、マウイはハワイで最高の普及率だったが、現在は、オアフ島が0.44%と、マウイを上回っている。どちらの郡の普及率もカウアイ島（0.2%）、ハワイ島（0.1%）を大きく上回っている。現在ハワイ州

には約3600代の電気自動車があり、ガソリン代の下落にもかかわらず、その導入の勢いは衰えていない。

マウイ・カウンティ・テントに関する詳しい情報は、(808) 270-8238 までお問い合わせください。ブループラネット財団に関する詳細は、www.blueplanethoundation.org まで、APEV は、<http://www.apev.jp/en> 及び、http://www.apev.jp/teamapev/top_e.html まで、HEVN につきましては、<http://www.henv.net/> をご参照ください。

###